

非正規職員の待遇改善を

市で働く職員の3人に1人が非正規

12月6日の市議会本会議・一般質問で、私は市で働く非正規職員の待遇についてただしました。みえ労連の県下自治体調査によれば、鈴鹿市の全職員2066人のうち、正規職員（再任用含む）は1444人、非正規は622人、実に31.8%を占めています。保育所では、保育士総数215人のうち、嘱託・臨時が100人、約半数が非正規という状態です。

正規並みに何年働いても低賃金、昇給もなし

嘱託職員は、公民館主事、図書館司書、保育士はじめ各職場で、正規職員と同等の仕事をしていますが、賃金は月額149,800円から178,800円と初任給レベルで、何年も経験を積んだベテランでも昇給がありません。市は「1年契約」を理由にしていますが、実際は仕事に慣れた嘱託職員で仕事が回っています。

市広報12月5日号に「嘱託保育士募集」の記事がありましたが、募集人員は「10人」。しかし現場の嘱託保育士は47人で、欠員となる分だけの募集になっています。つまり本当は「1年契約」ではなく、できるだけ長く働いてもらいたいのです。仕事は正規並みのベテランを求め、賃金は何年たっても「新米」扱いにしているのです。私は、正規採用をしないのなら、せめて賃金の底上げと経験加算をすべきだと求めました。

また、臨時パート職員の時給750円というのも県下最低レベルで、これもハローワーク鈴鹿の平均時給（827～922円）に引き上げることを求めました。さらに、非正規職員のうち大部分の94%、586人が女性であることを示し、「東海初の女性市長」ということをアピールする鈴鹿市なら、女性の地位向上に自ら努力すべきではないかと主張しました。

津波による浸水予測図を全戸に配布

12月補正予算に、県が公表した津波浸水予測図を「ハザードマップ」として市が作成し、各戸に配布する費用が計上されました。3月までに印刷する予定です。また、鼓ヶ浦小の屋上を寺家地区の緊急避難場所として、屋外階段やフェンスの設置をすることも、予算化されました。

委員会の審議の中で、ハザードマップは大きなA1サイズを折り畳んだもので、表は津波浸水予測図、裏面は各所の標高を入れた地図を印刷するとの説明がありました。私はこのマップの利用の仕方を問いました。「両面印刷では壁に貼ったら、裏面が見えないではないか?」「畳んで仕舞っておくと、いざという時に出して見れないのでは?いつでも取り出して見ることができるような工夫が必要ではないか?」「登山の地図のように、水に強く破れない材質にならないか?」など。すっきりした回答はありませんでした。私は貼るために2枚ほしいとか、失くしたという市民に提供できるように、余分に印刷するように提案し、担当者も予備用を多く印刷すると答えました。

独立した「防災危機管理課」を新設

鈴鹿市は、大規模な自然災害や新型インフルエンザなどの健康被害、事件や事故に対応するために、危機管理および防災を担当する「防災危機管理課」を4月から設置することになりました。この課は「どこの部にも属さない部署」、市長・副市長に直結した組織となります。そして、いざ事あるときには、すべての部署の上に立ち、指揮をとる権限を持ちます。

この組織が求められる機能を発揮するためには、各部署に迅速・正確に指揮命令できる能力を持った「人」が、トップに座る必要があります。4月の人事に注目したいと思います。

何とかできた、はじめての野菜作り

鈴峰地区の農業を考えるグループ「農光会」に入れてもらってます。会から野菜の苗や種をもらって、畑で大根、白菜、キャベツなどを作りましたが、何とかそれなりに出来ました。コメは毎年作っていますが、水さえ切らさなければ出来ます。しかし畑のものは、きちんと手入れしないとだめで、夏のトマトは全滅、キュウリ、ナスは散々でした。来年も挑戦します。

輸出大企業に消費税「還付金」！

庶民と中小業者から取った消費税収の3割が
輸出企業のふところに入ってしまふカラクリ

2010年分消費税還付金上位10社

単位・億円

| 企業名 | 還付税額 |
|--------|-------|
| トヨタ自動車 | 2,246 |
| ソニー | 1,116 |
| 日産自動車 | 987 |
| 東芝 | 753 |
| キャノン | 749 |
| 本田技研工業 | 711 |
| パナソニック | 633 |
| マツダ | 618 |
| 三菱自動車 | 539 |
| 新日本製鉄 | 346 |
| 合計 | 8,698 |

全国商工新聞12月12日の記事を紹介し
ます。税理士・湖東京至さんの試算による
と、2010年の消費税の巨大輸出企業への還
付金は、左表のように上位10社だけで8700
億円になっています。10年度の還付金合計
は3兆3762億円で、消費税収の28%に相当
します。最大のトヨタ自動車は、最近5年
間で1兆3000億円もの還付です。1円も納
税していないのに、巨額の「還付金」！！

一方、下請け中小零細企業は、経営が赤
字でも消費税を取られています。町工場の
親父さんが汗水流して納めた税金が、輸出
する瞬間に大企業のふところに自動的に入
るというカラクリ。これこそが、消費税の
最大の不公平です。

10%に増税すれば、企業への還付金が2倍に！

大企業・財界が消費税を10%に上げると言うのも、1円も納めないままに
還付金が2倍に増えてさらに儲かるからです。こんなとんでもない税の仕組
みを知ったら、だれだって頭にくるでしょう。

歌のボランティア活動、好評につき続けます

11月に介護施設たんぼぼで2回目の「歌のボラ
ンティア」をしました。童謡や昭和の歌謡曲など
を、利用者の人と一緒に歌うのですが、喜んでい
ただいたようで、「またお願い」の声がかかりま
した。月1回程度おじゃましようと思います。



ずいそう



慌しく駆けまわった1年

2011年も慌しく暮れようとしている。今年は3月の大震災・原発災害という大事件があり、それに加えて4月の地方選挙に向けての活動が続き、年の前半は本当に忙しかったし、後半はその延長という感じで過ぎていった。

6月に被災地・宮城でのボランティア活動に出かけて、この目で見た大津波のすさまじい爪あとは、言葉にできないほどの衝撃だった。泥あげを手伝ったイチゴ、カーネーションのハウス農家は、また栽培を始めているだろうか、寒い冬を迎えて暮らしはどうしているだろうかと思う。

11月の後援会バス旅行で敦賀原発を見学して、鈴鹿からわずか100キロという「近さ」をあらためて認識させられた。今の福島の人々の苦難は、明日の私たちの苦難に直結するものだ。「原発ゼロ」に向けて、行き詰まった政治の大転換をはかる活動をさらに広げよう。

心身ともに健康でこそ、頑張れることを実感

そんな毎日をバタバタと過ごしていたら、8月の盆に、突然ひざに激痛が走りダウン。毎年の検診で「尿酸値が高い」と言われていたのを放っておいたのが、症状として表れたらしい。その後は反省して、食事や生活を少々健全に改善してきている。



鈴鹿サーキットにて

この秋には、御在所岳や入道岳に登り、熊野古道を歩き、運動の機会を増やしている。今月18日には鈴鹿サーキットでの「シティマラソン」に出場、コース1周5.6キロを39分で完走できた。（左写真）

運動も「修行」のように根を詰めてがんばると、これもストレスになって体に良くない。低い山をゆっくり歩く、マラソンも「本番が練習だ」とムリしない、40分以内でゴールできたら合格と、ラインを下げている。目的は「勝つ」ことではなく、「健康」にあるのだから。

新年には59才、同級生はあと1年で定年という年になったが、私はあと3年は絶対にコケられない。細く長く、ムリせずに仕事に取り組みたい。

読者の皆さん、2012年も元気にがんばりましょう！